

★北東北3県・北海道ソウル事務所 SNS（韓国語）
よろしければフォローお願いします！



北東北三県・北海道ソウル事務所だより（2024年9月）

報告者：所長 佐藤 雅代

■日韓関係に関する動き（9月）

○日本への「良い印象」が上昇中—リアルな交流と文化が両国間の関係を変えていく？

韓国のシンクタンク「東アジア研究院」(EAI)は、2013年から「韓日国民相互認識調査」を発表しています。9月19日に発表された第12回の調査結果では、日本に対して「良い印象」を持っている人が41.7%だったとの報道がありました。（調査方法はオンライン、調査対象は韓国人約1,000人）これは、この調査が始まって以来最も高い数値だったそうです。

調査結果の中で興味深いのは、彼らが日本に良い印象を持った理由の中で特に高い値を示しているのが「親切で誠実な国民性」と「魅力的な食文化とショッピング」の2項目で、いずれも実際に日本に来て、旅行などを通じて日本人と接触したり文化を体験したりしたことがある人が、韓国における日本の印象を押し上げているという事実でした。

歴史の捉え方や政治という容易に譲歩できない問題が両国の間に横たわっている中で、「実際に訪れること」がこれだけ日本の印象の改善につながっている事実は、地方の立場から観光誘致や経済交流の支援という仕事に携わっている私たちを、大きく勇気づけてくれるものだと思います。

9月22日に開催された「第20回日韓交流おまつり」（ソウル事務所は「北海道・青森・岩手・秋田」ブースを出展）も、日本人2名韓国人3名からなるK-POPグループ ILLIT のパフォーマンスに両国の若者が大いに盛り上がっていたのはもちろん、日本から招待された米良美一氏やアバンギャルディのステージで流れる日本の歌謡曲に合わせて韓国の若者たちが体を動かしている様子に、相互の文化が現在の日韓の絆を育てていることが大いに実感される内容となりました。



■《北海道海外事務所共通テーマ：9月》現地の方に人気のある日本の旅行先と過ごし方について

○韓国の方の日本旅行スタイルについて

出入国庁の入国者統計が示す韓国の方の人気順は 関西→首都圏→福岡→北海道→沖縄となっております。実際に日本にやってきた韓国人旅行客の旅行スタイルは、年齢層によって異なりますので、主要な2グループに分けてご紹介します。

（高齢者層：主にツアー客）

ゆったりとした旅行や自然・温泉を好み、日本旅行のリピーター（色々な地域の訪問経験がある）が多いです。海外旅行を好む高齢者層は韓国の中でも比較的裕福な層が多いので、良質な温泉宿でゆっくりと過ごし、美味しい料理を食べ、のんびり過ごす傾向があります。観光は、バスで連れて行ってもらえるところに楽に見に行くのが好まれる傾向です。（あまり頑張って歩いたりはしません。）

（中堅～若年層/FIT客）

活動的で、グルメ、街歩き、ショッピングを楽しみます。旅行に行く前に自分でSNSをチェックし、行きたいお店やスポットをリストアップし、チェックリストをこなしながら写真を撮り、自分もSNSに上げ、友達と情報を共有します。「自分で動く」という旅行の特性上、訪問先の選択に交通の利便性が大きく影響します。よって、どうしても都市部に人気が集まる傾向があります。

■北海道関連トピックス

○ダゾンビズオン社が日本法人本社を札幌市に設立

韓国IT大手のダゾンビズオン (Douzone BizOn) 社は、11月に札幌市内に営業拠点を構え、日本での本格的な事業展開に向けて活動を開始する予定です。

本件については、北海道庁に日本進出に関する問い合わせがあったことをきっかけに、当事務所長がジェットソウル事務所と共に同社オフィスでヒアリングを行い、北海道庁及び札幌市と連携して事業開始に向け支援している案件です。

○World SmartCity Expo に札幌市がブース出展

9月3日から5日まで、高陽市のKINTEXで開催された「World SmartCity Expo」に札幌市がブース出展しました。会場では上空にドローンが飛び交い、ブース間通路を遠隔操作ロボットが闊歩する未来的な雰囲気の中で、韓国だけでなく世界各国からスマートシティに関連する事業者が集まりました。札幌市は今回、GXを生かした企業誘致に向けた情報収集を兼ねた出展でしたが、事前マッチングや当日飛び込みによる参加者との情報交換を重ねる中で、韓国においては札幌市は「観光地」としての知名度は非常に高いものの、ビジネス都市としてのイメージがほぼ無いということがわかりました。今後の地域PRの課題としていきたいと思っております。

